



勝田さんがいらっ
しゃってから廊下
や階段がとても綺
麗になりました！
ありがとうございます

地区協からは
ポップコーンと
ドリンクを出店
します！



PTA

八雲台小学校PTA

★健全ソフトで子ども達
が使うグローブの寄付を
募っています

090-3584-8737まで

★来年PTA総会是对面で行
います

★PTAビブスを見かけたら
お声がけください

地区協議会とは地域で活動する各種団
体や地域住民が連携・協力し、地域の
まちづくりのために自主的に活動する
ネットワーク組織です。団体同士や地
域住民を横糸でつなぐ組織です。
一つの団体だけでは対応が困難な課題
に地域の皆さんと考えるながら活動して
いきます。

その役割の一翼を担うためにも、つな
がる誌では毎回PTAや八雲台小学区協
力団体の情報も掲載して参ります。

(調布市のホームページより一部抜粋)

八雲台小学校
地区協議会は
まごじばの
協力団体です

まごじば
みんなのいばしょ

まごじばは
千本引き
スーパーボール
すくい
絵本コーナー
おりがみ遊び
甘酒無料配布

を出店します♪

まごじばモーニング

月曜日・国領神社
金曜日・八雲台ふれあいの家
7:15くらい～

まごじばプレーパーク

基本第2第4水曜日
(インスタチェック)
13:00～16:00

3/28 (金) 10:30～
“まごバ祭り”開催
中野区のプレー
リーダーさっち
も来てロープ遊
びもやります♪

編集後記

いつも読んでくださり、ありがとう
ございます

地域の皆さまに八雲台小学校と
子ども達の存在を身近に感じて
いただくことで、八雲台小学校の子
ども達に愛情を持っていただき、登
下校時や放課後の見守りをはじめ
とする防災・防犯に対する

地域全体の意識向上を図りたく、
また、来年度導入されるコミュニ
ティスクールに向けて、子ども達の教
育資源となり得る地域人材の発掘
へのきっかけづくりをし、ゆくゆくは
地域づくりの担い手の育成につな
がるよう、広報誌としての役割を法
かす努力をしています。
広報担当役員 千坂真木

第12号 2025年3月

八雲台小学校地区協議会

つながる誌

since 2004



2 見守りパトロール事業

3 古武術&まち歩き/
美化委員会活動

4 そば打ち体験教室

5 石森先生講演会/ハチの巣箱設置

6 吉沢副校長先生インタビュー

7 地区協が紹介したい方/
かんばらけんたさん

8 お知らせなど



発行:八雲台小学校地区協議会 会長:添田光威

問合せ:080-2242-9749

yagumochikukyo@docomo.ne.jp

見守りパトロール事業

パトロールの効果として例年より不審者情報が減ったとの声が寄せられています、盗撮・東門前で1年生男児が腕を引っ張られる・声掛けの情報が児童館や保護者から寄せられています。保護者・地域の皆さまにおかれましては、お散歩やお買い物がてら防犯グッズを着用して見守りいただくと、犯罪の抑止力になると思いますので、ご協力をお願いいたします。

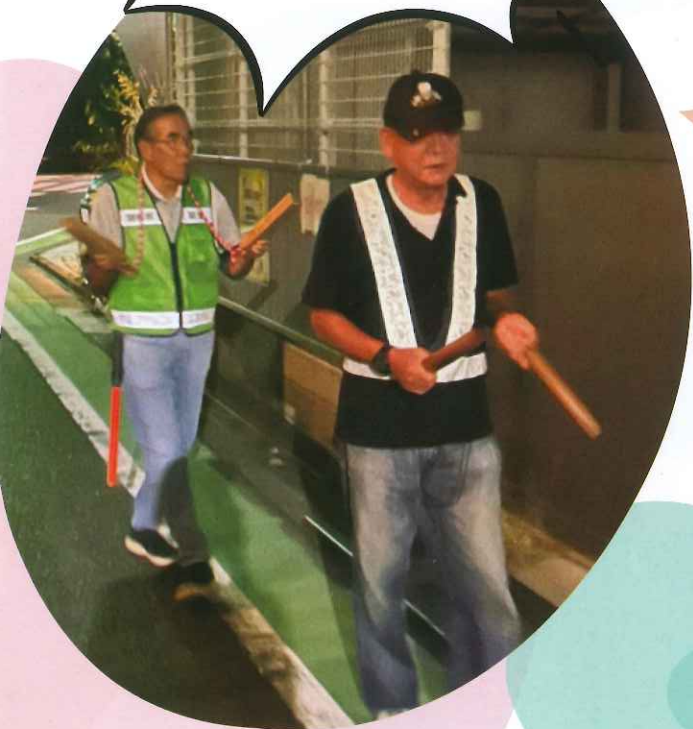


毎月第4土曜日
16:00～あそびバ前集合で
見守りTパトロールを
行っております！ビブスを
貸与しますので
お気軽にご参加ください！



まごじばースも
参加してるよ！

火の用心！！



柳自治会さんは毎月第4土曜日に防犯・防災パトロールを20年以上実施しています！そちらにもぜひご参加ください

PTAでビブスを作る
そうですよ
このビブスがいつか
パトロールで見れる
と思います！

古武術歩行&まち歩き

3/2(日)古武術歩行&まち歩きを開催しました

古武術歩行

上体をねじらない「ナンバ歩き」を練習しました。身体の負担が少ないので、疲れにくい歩き方です。(講師：野口祥子氏)

まち歩き

深大寺用水東堀の跡をたどる、歩きを楽しみました。明治の初めに作られた用水路は現在、柴崎公園からつつじヶ丘駅付近までが暗渠として残り、その上を歩く事が出来ます。古武術歩行の終了後、バスを利用して柴崎公園に行き、遊歩道を歩いてつつじヶ丘公園でひと休み。あずまやでは、三鷹市と入り組んだ地形のことや、用水の水利権と村の飛び地のことなどのミニ講義がありました。(講師：梶井直親氏)



2/6 (木)美化委員会活動
『ハチの巣箱作り』
(講師は野草研究員の石森さん)

地区協運営委員でもある石森さんのレクチャーのもと、木箱にいろいろな太さの筒状のものを詰め込んで、みんなでカラフルな巣箱を作りました。これを設置することでハチたちがこの中に卵を産み、新しいハチの誕生のきっかけを増やします！校内に設置しました。探してみてください！



そば打ち体験教室

2/16(日)役員の佐久間さんが先生として
指導くださいました



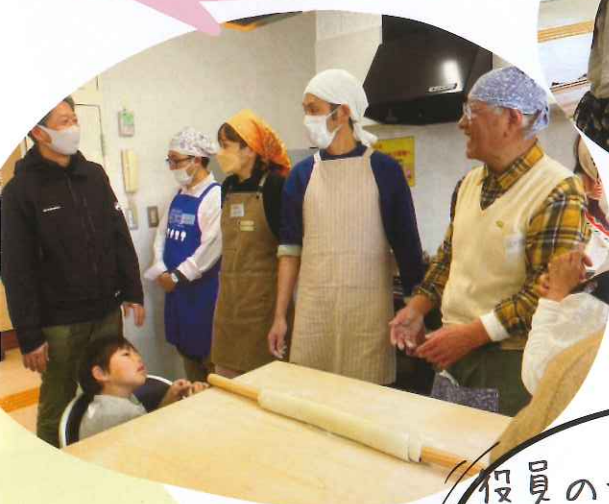
先生は役員(総務)の佐久間さん
(右)★深大寺そば学院で
培った腕前です!

佐久間さんはお子さんの在校時
代、第七中学校で「おやいの会」を
立ち上げたメンバーです!

22名の方に
ご参加いた
だきました★

運営委員竹内さん(左)
には花壇整備など
でも大変お世話に
なっています★

協働推進課の萩原課長も激
励に訪れてくださいました★



役員の梶井さんが今回
の立役者★

役員の千坂さん(左)もそば
学院卒業してますが、まだま
だ修行の身だそうですw

広報担当補佐で来年度ハ雲
台小PTA会長に立候補されて
いる西村さん(右)も参加
くださいました(*^▽^*)



運営委員の宗上さんも
my蕎麦切り包丁をもって
いらっしゃる経験者!宗上
さんはまごいばモーニング
食堂でも毎回腕を振るま
ってくださいています★

3/11(火)「にほんの野草を植えた花壇の取組み」 講演会を開催しました

筒蜂巣箱作り



甲州街道沿いの花壇に植
えた野草たちについて
のお話を石森佳子先生
を講師にお招きして開催
されました♪

小学生に人気の
「環境教育」の授業を
大人向けに、わかり
やすくお話いただきま
した!



受講いただいた方
のアンケートを
一部ご紹介します



蜂の生態に興味深かったです。
昔野草図鑑を読んでいたことが
あり、なつかしかったです。八雲
台小の花壇は道路沿いののにたく
ましく野草が育っていてすごいな
あと思っていました。すごく面白
かったです。説明分かりやすかつ
たです。巣箱について、続報を
楽しみにしています。
ありがとうございました。

きれいで、かわいい...八雲台小の花壇の管理をして
いただきありがとうございます。いつもいやされま
す。はち"は植物の生息にとって大切であることが
よくわかりました。今度から"はち"を見る目がかわ
ります。イラストもかわいくて、とてもわかりやす
かったです

ハチと植物の関係や環境への
影響についてとても勉強になり
ました。在来植物による花壇づ
くりという試みについても、は
じめて知りましたがこれからの
とても大切な活動であると思い
ました。
子どもたちが一緒に活動してい
けることも、ればらしいと思い
ました。貴重なお話を聞かせてい
ただき ありがとうございます

一年中在来種の花を咲かせるのではない
のです。在来種は春～夏に咲きミツバチ
が媒介してその後は実を付けるのです。
秋に咲くのは外来種または園芸種だと仰
っていました

はちの巣箱

3//14(金) 美化委
員の4年生が、2/6
に作ったハチの巣箱
(P3参照)を石森
先生が設置しまし
た♪ハチが来るとい
いですね!



八雲台小は地域の方の
協力・行事がすごい！

強い地域なんだなあ！！

吉沢先生の「八雲台小学校のココが素敵」
をいくつか教えてください。

子どもたちがかわいいところです。みんな、
とても素直でかわいいと思います。
あとは保護者のみなさんと地域の方々が協力
し合ってくださるところもいいですね。

八雲台小学校で初めて副校長をされたそ
うですが、大変だったことを教えてください。

特にないです(笑)！
図工の補助や、運動会の後の片付けのお手
伝いも、呼びかけにすぐに対応していただ
き協力してもらえてありがたかったです。
地域の行事への教員の参加については教員
個人の生活もあるので、なかなか難しいと
ころもあるのですが、バランスを取りなが
ら地域の中に入っていけたらと思います。

サルのパペット人形をいつも持っておられ
ますよね。

これは、先輩の猿沢先生です。前の前の赴
任校で、初めて一年生を担当した時、隣の
クラスの先生が、チェブラーシュカ(ロシア
の絵本のキャラクター。小熊と猿の中間の
ような男の子。)のパペットを持っていたん
です。それを見て「いいなあ」と言った子
のお母さんが、プレゼントしてくれたの
が、猿沢先生です。

猿沢先生と卒業式の集合写真と一緒に写っ
たこともありました。
子どもたちからも評判はよく、猿沢先生が
いないと子どもたちから「今日いないの？」
と聞かれたりします。
猿沢先生に乱暴な触り方をする子がいた
ら、「今日はイライラしてるのかな」と感じ
ますし、いつもより、たくさん触ってくる
子がいたら「少し寂しいのかな」と感じま
す。

猿沢先生とかれこれ15年一緒にいます。
時々洗ってあげていますよ。

インタビュー



調布市立
八雲台小学校
副校長

吉沢 洋先生

何か趣味はありますか？

水泳が趣味です。運動
不足になりがちなので
自転車で20分くらいか
けて通勤しています。

吉沢先生にとって、どんな学校が理想ですか？

小学校なら中学校、中学校なら
高校のように、次の学校に行くのが楽しみ
になるような学校が理想です。いまの学校
が楽しいからこそ、次の学校に行くのが楽
しみになるからです。

今日はありがとうございました。



インタビュー:千坂真衣、西村咲枝



地区協が紹介したい方の コーナー

かんばら けんた
さん

前編



1986年3月兵庫県神戸市生まれ。車椅子ダンサー、システムエンジ
ニア。二児のパパ。上のお子さんが八雲台小に通っている。
先天性の二分脊椎症という障害を持つ。
ダンスを始めて半年でリオパラリンピック開会式の舞台に立ち
7万人の前でパフォーマンスをする。東京パラリンピックの開会式
でもダンスを披露。サーカスアーティストとしても活動している。

西村:以前、調布の商業施設でかんばらさんのパ
フォーマンスを拝見して感銘を受けたので、ぜひ
インタビューをさせてほしい、と思い、今回お話
を聞かせていただくことになりました。
まず、かんばらさんは、小学生の時、どんなお子
さんでしたか？

かんばらさん(以下かんばら):小学校の通常学級
に通っていました。階段しかない4階建ての校舎
だったので、4台の車椅子を各階に用意してカー
ペットを敷いた階段を手で登っていました。入学
当時、車椅子の子どもは周りにあまりいませんで
した。入学前に校長先生との面談があり、「ここ
からここまで歩いてください」と言われ、「歩け
ません」と言われた記憶があります。ウェルカム
ではないと感じましたが、小学校には楽しく通
っていました。
リハビリとして歩く練習をしていたのですが、小
学校3年生の時、努力してもできないことがある
と感じて、母に「ぼくは一生歩くことができない
のか、それとも、努力すれば歩けるようになるの
か」と聞いたんですね。すると母の答えは「歩け
ない」だった。その時は泣いたんですけど、そこ
から「前向きに」歩くのを諦めた。「受け入れた」
というより、歩けなくても友達とゲームをしたり
とか、楽しいことはあるな、と。

西村:関西は人権教育が進んでいて、インクルー
シブな環境が整っているイメージがあります。
かんばら:30年前の神戸は、ぼくにとっては、そ
れほど教育が進んでいるという感じはなかったで
すね。小学生の頃、知らないおじさんに「障害
者」と言われたり、スーパーに母と買い物してい
たら、おばちゃんが「かわいそう」と言ってお金
や果物を渡そうとしてきたことがありました。ち
なみに2、3年前も、東京でバスに乗っていたら
「おい、税金泥棒」と言われたりもしました。そ
ういう人のことは、幸せな人生を送っていない人
なんだと、気にしないようにしています。でも、
自分が学校に行って子どもたちに講演をしている
ことを考えると、教育も変わってきたのかな。

西村:私自身は、たまたまボランティアで行った
神戸で障害者の自立運動に触れたことがきっかけ
で福祉を学んだのですが、かんばらさんは、障害
者の自立運動に出会ったりされたのですか？

かんばら:障害者の自立運動といってもいろいろあ
りますよね。障害者の人とはあまり接点がなく大
人になりました。「影響を受けた障害者の方はいま
すか」とよく聞かれるんですが、そういう人はい
ませんでした。

西村:そうなんですね。体育が苦手な子どもに何か
メッセージがあれば教えていただけますか。

かんばら:うーん。そうだなあ。自分が子どもの
時、体育には自分ができることで参加してしまし
た。サッカーならキーパー、かけっこならハンデ
をもらって走ったり、違うルールで参加していま
した。マラソンは嫌いだったけど、卓球は楽しか
ったです。
体育が嫌いな子は嫌いなままでもいいんじゃない
かな。ただ、何か好きな競技があるといいかもしれ
ません。

「ゆるスポーツ」というのがあり、その中で「イ
モムシラグビー」という、もこもこのユニフォ
ムをきて、匍匐(ほふく)前進する競技がありま
す。ぼくはイモムシラグビーでは勝てます！

西村:ダンスを始めたきっかけは？

かんばら:テレビのニュースで、車いすを作ってい
る会社が、ダンスパフォーマンス用の車いすをつ
くっているのを見たんです。タイヤが太鼓になっ
ていたり、後ろの羽のようなものが布製のスピー
カーになっていて。それを見て面白いなと興味を
持ちました。その後、車いすのパフォーマー
を募集しているのを見つけて、「あの車いす
に乗ってみたい」と思い、応募したのが、
ダンスとの出会いです。

西村:運動はお好きだったんですか？

かんばら:幼稚園の時から、逆立ちはでき
ました。子ども部屋が2階にあったので、
ご飯の度に階段を上り降りして、日々筋トレをし
ている状態でした。パラスポーツのシッティン
グバレーや陸上競技もやってみましたが、身体
の変形がある自分の障害の特性上、努力して結果を
出すのが難しいと感じていました。ところが、
ダンスは100%自分を出せました。

西村:ありがとうございました。
(次号に続く)



※「障害」という文字表記について
かんばらさんの意見を尊重して「障がい」という
表記を使用せずに「障害」という表記にしています。